

1. 書面審議期間 令和2年6月26日～7月10日

2. 審議概要

・各委員からの意見等及び市の回答は下記のとおり。

(1) 第2次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン変更案について

①全般的事項

・全成果指標 50 の内、R5 年度の目標値に対して、R1 年度実績ですでに達成している取組が 28 (56%) 指標あります。早々の目標達成に敬意を表します。その上で今後のビジョン実現へ向けて成果指標の上方修正などは必要ないでしょうか。

(市回答) 【企画調整課】

目標値を設定している指標については、年度における活動量を表すものなど、毎年上下変動するものも多く、達成し続けることを重視しているものもあります。

他方、現在問題となっている新型コロナウイルス感染症の影響は、様々な分野に長期に渡り続いており、加えて、収束後の社会の在り方にも及ぶことが見込まれています。

計画の見直しについては、現時点の達成状況のほか、今後の見通し等も考慮し、適切な時期に判断していきたいと考えています。

②個別的事項

■P.22 「休日・夜間応急診療所の維持運営」

コロナ対策として「伊勢地区検査センター」についても記載してはどうでしょうか。

(市回答) 【健康課】

伊勢地区検査センターは、県から伊勢市が地域外来・検査センター運營業務を受託し、県からの委託料で運営しています。また、設置期間、今後の情勢が不透明なことから、現時点では、新たな協定の締結の予定はございません。

しかし、伊勢地区医師会（対象地域：伊勢市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町）と連携し、検査を実施していることから、with コロナの対応についても、連携を図っていききたいと考えております。

■P. 27 「ファミリーサポートセンター提供会員の相互利用」

利用者数が目標値より大きく下回っています。第1次ビジョンでは当初2,000件を超える利用者数がありましたので、啓発の問題ではないように感じられます。過去に別の会議体で、提供会員の高齢化が課題となっているという意見もあったと記憶します。依頼会員と提供会員のサポートのマッチングに課題はないのでしょうか。

(市回答) 【子育て応援課】

利用状況として、一時保育や低年齢児保育、放課後児童クラブ等の各種子育てサービスの充実等により、援助活動の利用の必要がなくなる等の理由のほか、在園時、在校時に必要としていた支援が卒園等により利用しなくなる等、年度によって偏りがあり、近年の活動件数は減少傾向にあります。

サポートのマッチング状況については、近いエリアでの成立が難しい場合は範囲を広げてマッチングするため、マッチングできずに断ることはほとんどない状況です。

しかしながら、提供会員の高齢化が進み、送迎活動ができなくなる等、高齢化を起因とする提供会員の実質的な減少があり、課題と考えています。

今年度は新型コロナウイルス感染症生活支援事業として、利用料無料券の配布を行い、利用者へ子育て支援を行うとともに援助活動の推進を図ります。

■P. 30 「中小企業勤労者及び事業主への勤労者福祉制度の充実に向けた支援」

圏域内、2市1町の連携で進捗しているが、労働人口の減少は避けられない状況にあることから、連携市町の拡大を図ることにより、会員数の増加につなげ、勤労者福祉サービス運営の安定と充実を目指す必要があるのではないのでしょうか。

(市回答) 【商工労政課】

伊勢地域勤労者福祉サービスセンターの地域拡大に関しては、同センターにおいても議論が行われ、地域拡大に伴いサービスを提供するための人員確保等の経費や事務負担の増加が懸念されるとともに協定未締結の自治体等からの参画意向がないことなどから、現行の対象地域内での会員拡大を最優先に、現在、取り組みがなされているところです。

このたび、伊勢地域勤労者福祉サービスセンターの安定的な運営、サービスの充実に向けた貴重なご意見を頂戴いたしましたので、定住自立圏推進協議会部会、同センターと情報共有を図り、議論を行ってまいりたいと考えています。

■P. 33 「創業に関する支援」

R1 年度の実績額が事業費に比して 17,000 千円以上も未執行になっています。セミナー参加者数は目標値を上回っていますが、補助件数は 50%に留まっています。雇用の場を創出することは人口減少に歯止めをかけるためにも重要な取り組みであると思います。すべての市町が連携する本取組の挑戦的活動を期待したいと思います。

(市回答) 【企画調整課】

・記載に誤りがありました。訂正稿を添付いたします。

- ・ R1 年度 事業費 《訂正前》28,960 千円 《訂正後》35,040 千円
- ・ R1 年度 実績額 《訂正前》11,339 千円 《訂正後》16,593 千円
- ・ R1 年度 取組の実績 (補助件数) 《訂正前》5 件 《訂正後》6 件

(市回答) 【商工労政課】

創業支援については、各市町において創業支援事業計画に基づき商工団体や創業支援機関等と連携し取り組みを進めていますが、当初、目標とした補助件数に至っていないのが現状です。

地域経済の活性化及び人口減少の歯止めをかけるため、地域住民による創業とともに、U I J ターン者による創業を促進し、雇用の場の創出及び移住・定住が図られるように、市町が連携した取り組みを検討してまいりたいと考えています。

■P. 34 「鳥獣被害防止対策について」

各地区で開発等が進み野生鳥獣の生息環境に変化が生じて、人里まで出没しています。その被害は、農作物の被害に留まらず、生活環境まで影響し年々増加しています。範囲も度会町から玉城町へと広がっています。度会町内においては高齢化により耕作放棄地も増えており、大きな課題となっています。このような状況の中で各市町ともに被害対策に取り組み、情報交換を行われていますが、今後具体的に環境整備や捕獲策をどのように推進していくのか示していただきたい。

(市回答) 【農林水産課】

各市町で獣害対策を行っているところですが、共通して行っている対策として、猟友会へ鳥獣捕獲の委託や補助を行っております。また、市町ごとに様々な対策を実施しており、猟友会員の減少対策として狩猟免許取得に対して支援を行ったり、市町民へ小動物用捕獲檻の貸出や農地の獣害防止柵の設置支援、ニホンザルを追い払うための花火の配布などを行っております。

今後も、他市町の対策方法を必要に応じて各市町で取り入れるなどして、より有効な獣害対策を推進していきたいと考えております。

■P. 35 「伊勢志摩地域への旅客誘致」

事業費や実績額、成果指標が記載されていながら、進捗状況に「B：未実施」とあるのは特段の事情があるのでしょうか？

(市回答) 【企画調整課】

- ・記載に誤りがありました。訂正稿を添付いたします。
※実施スケジュールにある全項目について、「B：未実施」を「A：実施中」に訂正

■P. 36 「伊勢熊野地域への旅客誘致」

事業費や実績額、成果指標が記載されていながら、進捗状況に「B：未実施」とあるのは特段の事情があるのでしょうか？

(市回答) 【観光振興課】

- ・既存の観光パンフレットの増刷は、在庫に余裕があったため行いませんでした。また、事業計画の中では新たに多言語マップの作成を予定していましたが、関係団体との調整が年内につかなかったため、令和2年度に持ち越しとなりました。
- ・令和元年度は多言語マップを作成する予定で予算を組んでいたため、ノベルティの作成は事業として計画していませんでした。
- ・令和2年3月のPRイベント「旅まつり名古屋」へ参加予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントの開催が中止となったため、PRイベントの開催は未実施となりました。
- ・令和元年度の事業については当初予定していた事業が実施に至らなかったため、令和2年度へ大幅に繰り越し、令和元年度に予定していた多言語マップの作成に加え、ノベルティの作成、新型コロナウイルス感染症の動向を注視し、可能であればPRイベントへの参加を予定しています。

■P. 38 「廃止代替路線バスの維持」

柔軟に路線を見直し、交通弱者の利便性の維持に寄与している点はいへん評価できると思います。

■P. 40 「県道鳥羽松阪線の建設促進」

日に日に残り 600 メートルの完成が近づいていることを実感できます。完成すれば、市道古市鹿海線のイオンー御幸道路間の渋滞も緩和することが期待できます。

(2) 圏域の現状と課題について

- ・「ウ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野」の研修・講座実施について、大変重要な政策だと理解しています。今般のコロナウイルス感染予防であらためて見直されたオンラインでの実施方法は各取組で指摘されている課題の解決可能性も含んでいるように思います。R5 年度へ向けた環境整備や運用実験など検討されてはどうか。
- ・新型コロナウイルス感染拡大が懸念される昨今ですが、この課題はかなり長く続くように思われますので、共生ビジョンにもどこかで触れる必要があるのではないのでしょうか。
- ・コロナウイルス感染症の影響で、伊勢志摩定住自立圏域も観光、第1次産業を中心に大きな影響が出ています。今こそ、圏域内の役割分担に沿ってお互いが支え合う地域の連携強化が望まれるところです。
- ・現在、新型コロナウイルス感染拡大により、世界全体で大きな影響を受けております。「感染症」という見えない敵との戦いは、その他の自然災害とは異なり社会システムと生活様式の急激な変化を私たちに強いる事になりました。この変化は、ウイルス終息まで、その情勢に合わせて維持されていくものと考えます。

当地域においても、様々な問題が浮かび上がってきております。

- ・旅行の自粛（移動制限）等による地域経済へのダメージ
 - 主要産業である観光産業が疲弊すると、市町の価値が下がる
- ・感染拡大地域からの旅行者受入れによる、地域への感染拡大の恐怖
 - 感染防止の行き過ぎによる差別や風評の拡大
- ・様々なガイドラインによる、事業者への負担
 - 事業運営への支障、業績悪化、業績回復の鈍化
- ・地域社会の急速な変化
 - 対応インフラ等の整備、新たなルール（様式）作り

まだまだ様々な問題が考えられますが、当地域においてもこの度の社会情勢変化の波への対応を迫られていることは事実であり、影響下にあるうちは持続させなければなりません。

私見ではありますが、当圏域においても、この新型コロナウイルスによる社会変化のうち、今後持続されるであろうものの影響を、当圏域の各課題へ加味していくべきではないのでしょうか。（まだまだ影響に関しては未知の部分が多いですが、定住環境さえ整えられれば、人口密集地を避けたり、テレワークの普及により過疎部への移住が促進されるなど、マイナスだけでなくプラス部分も発生する可能性もあります。）

- ・新型コロナ感染症のため、地域活性化のために企画していたイベント及び行事が中止となったため、今後の対応策が必要となる。

- ・新型コロナウイルス感染拡大により、漁業においても大きな影響が出ている。特に魚類養殖漁業では、感染拡大により外食産業への供給が激減、また、輸出もストップしたため、魚がダブつき、資金繰りの悪化が顕著となっている。行政と連携しながら、スーパー等で販促を進めている。又、天然マグロ等の高級魚も軒並み価格が低迷し、他産業同様、厳しい状況となっている。
- ・圏域の人口と圏域市町の社会増減について、現況はどうでしょうか。
- ・隣接する松阪市の現況（人口と社会増減）はいかがでしょうか。

（市回答） 【企画調整課】

- ・人口減少傾向は続いており、また、社会増減もマイナスが続いています。
- ・松阪市についても、人口は減少傾向であり、社会増減もマイナスが続いています。
- ・市町の人口推移については、「みえ DataBox」に掲載されておりますので、ご覧ください。
※インターネットで「みえ DataBox 人口」で検索してください。

ア 生活機能の強化に係る政策分野

2 産業振興

(1) 商工業の振興

| 取組事項 | | 創業に関する支援 | | | | | | | |
|------------|------------------------|--|--------|--------|--------|--------|-------|------|-----|
| 連携市町 | | 伊勢市 | 鳥羽市 | 志摩市 | 玉城町 | 度会町 | 大紀町 | 南伊勢町 | 明和町 |
| | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 現状と課題 | | これまで地域経済を支えてきた中小企業・小規模事業者の数が年々減少を続けており、地域の活力が失われつつある。また、進学や就職などの理由で地域を離れ愛知県等3大都市圏へ転出する若者が後を絶たず、人口減少に拍車をかけている。このような状況において、新たな地域経済の担い手を創出するため、創業の促進が求められている。 | | | | | | | |
| 事業の概要 | | 産業の振興、雇用の創出を図るため、創業を支援する。 | | | | | | | |
| 期待される効果 | | 圏域における創業を促進することで、新たな担い手による地域産業の振興及び雇用の創出につながる。 | | | | | | | |
| 中心市の役割 | | 連携市町及び関係機関等と連携し、創業に関する支援を行う。 | | | | | | | |
| 連携市町の役割 | | 中心市及び関係機関等と連携し、創業に関する支援を行う。 | | | | | | | |
| 事業費（単位：千円） | | R1年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | | | |
| | | 35,040 | 32,352 | 32,330 | 32,330 | 32,330 | | | |
| 実績額（単位：千円） | | 16,593 | | | | | | | |
| 実施スケジュール | 具体的な内容 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | 進捗状況 | | |
| | 創業支援事業計画に定める創業セミナー等の開催 | | | | | | A:実施中 | | |
| | 創業に関する情報の収集・発信、共有 | | | | | | A:実施中 | | |
| | 創業希望者への補助の実施 | | | | | | A:実施中 | | |
| 取組の実績 | 成果指標 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | 目標値 | | |
| | セミナー参加者数(延べ) | 169 | | | | | 120 | | |
| | 補助件数 | 6 | | | | | 10 | | |
| 今後の方向性 | | 新たな地域経済の担い手の創出や若者等の移住・定住を促進するため、連携市町及び関係機関等と連携し、新型コロナウイルスに注意をはらいながら創業セミナーや創業支援等を行うほか、創業に関する情報発信等にも注力し、圏域における創業の促進に取り組んでいく。 | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | | | |

※R2年度以前の事業費は連携市町の当初予算額の合計を記載しています。

※R3年度以降の事業費は連携市町の合計額(見込)等を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。

ア 生活機能の強化に係る政策分野

2 産業振興

(3) 観光の振興

| | | | | | | | | | |
|------------|---------------|--|--------|--------|--------|--------|-------|------|-----|
| 取組事項 | | 伊勢志摩地域への旅客誘致 | | | | | | | |
| 連携市町 | | 伊勢市 | 鳥羽市 | 志摩市 | 玉城町 | 度会町 | 大紀町 | 南伊勢町 | 明和町 |
| | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| 現状と課題 | | 地域間で連携し、伊勢志摩地域の誘客宣伝・誘致活動を行うことにより伊勢志摩地域を活性化する。 | | | | | | | |
| 事業の概要 | | 伊勢志摩地域の情報発信、修学旅行等の誘致、デジタル伊勢志摩事業の実施、インバウンド事業の実施、伊勢志摩観光振興プランの策定等、伊勢志摩地域への旅客誘致を図る。 | | | | | | | |
| 期待される効果 | | 伊勢志摩地域の魅力創出・発信を行うことによる、伊勢志摩地域への観光客の増大並びに観光振興による地域間連携の強化等に繋がる。 | | | | | | | |
| 中心市の役割 | | 伊勢志摩観光コンベンション機構における連携事業を中心とし、連携市町と連携し、必要な取組を行う。 | | | | | | | |
| 連携市町の役割 | | 伊勢志摩観光コンベンション機構における連携事業を中心とし、中心市と連携し、必要な取組を行う。 | | | | | | | |
| 事業費（単位：千円） | | R1年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | | | |
| | | 50,003 | 54,973 | 54,973 | 54,973 | 54,973 | | | |
| 実績額（単位：千円） | | 50,003 | | | | | | | |
| 実施スケジュール | 具体的な内容 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | 進捗状況 | | |
| | 観光情報の発信 | | | | | | A:実施中 | | |
| | 学生団体の誘致活動等 | | | | | | A:実施中 | | |
| | デジタル伊勢志摩事業の実施 | | | | | | A:実施中 | | |
| 取組の実績 | 成果指標 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | 目標値 | | |
| | 旅客数(万人) | 3,026 | | | | | 2,994 | | |
| | | | | | | | | | |
| 今後の方向性 | | 伊勢志摩地域の観光客を増加させるには、地域が一体となって取り組むことが重要であるため、実施する事業については随時見直しを行いながら、今後も積極的に進めていく。 | | | | | | | |
| 備考 | | <ul style="list-style-type: none"> 伊勢志摩観光コンベンション機構負担金：伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、南伊勢町、明和町、多気町、松阪市、三重県他民間団体 旅客数は三重県観光レクリエーション入込客推計(延数) 目標値はH29実績の5%増(伊勢志摩観光振興プランに準ずる) | | | | | | | |

※R2年度以前の事業費は連携市町の当初予算額の合計を記載しています。

※R3年度以降の事業費は連携市町の合計額(見込)等を記載しており、詳細は毎年度の予算により定めます。